

# NMCM News



独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター広報誌

No.104  
2022年1月号  
TAKE FREE

ご自由にお取り下さい



写真:新型コロナワクチン大規模接種関係者への感謝状贈呈式(長谷川院長と大村愛知県知事(右)=令和3年11月29日、県庁で)

■ 巻頭言	新年のご挨拶 名古屋医療センター院長 長谷川好規	2p
■ ドクターよもやま話	医師の働き方改革 腎臓内科医長 中村智信	3p
■ 職場紹介	相談支援センター(医療相談室)・がん相談支援センター／中3病棟	4p
■ トピックス	災害訓練を実施しました	5p
■ 医療最前線	HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンについて 産婦人科医長 中西 豊	6p
■ 連携医療機関紹介	医療法人 桂名会 大須病院	7p



# 巻頭言



長谷川好規  
名古屋医療センター院長

## 新年のご挨拶

謹んで新春をお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、晴れやかなお気持ちで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。通院・入院中の患者さんにおかれましては、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。早いもので病院長として4年目となりますが、新型コロナウイルス・パンデミックの対応で大半の時間を費やしてきたようにも感じております。一方、職員一丸となり安全で質の高い医療の構築と提供に向けて、たゆまぬ努力を続けておりますので、本年もよろしくごお願い申し上げます。

新型コロナウイルス・パンデミックは当初の予想とは異なり、新たな波が押し寄せる毎に波の高さは高く、大きな波となりました。読者の皆さんにおかれましても、様々な思いで、この2年間をお過ごしされたことと思います。この間、私たちは多くのことを経験し、新たな医学の進歩を体感しています。瞬く間に病原ウイルスとその遺伝子構造が決定され、新しい遺伝子型ワクチンが臨床応用され、その素晴らしい効果を実感されていると思います。一方で、度重なる変異株の出現は医学の新たな挑戦となり、パンデミックなどの急激な健康危機負荷に対応できる予備能力の構築 (Surge capacity) は、社会の重要な課題となりました。名古屋医療センターでは、パンデミック当初より新型コロナウイルス感染者を積極的に受け入れ、地域貢

献に努めてまいりました。また、本誌の表紙写真は、愛知県新型コロナワクチン大規模集団接種で名古屋医療センターの貢献に対して、大村愛知県知事より病院に対して感謝状を贈呈されたものです。職員一同、本年も変わらず新型コロナウイルス診療に寄与してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

名古屋医療センターは、昨年より入退院支援センターが本格稼働し、入退院患者さんへの満足度と質の高い医療の提供を推進しています。また、安全で効率的な医療機器管理を統一に行う医療機器総合管理センター（仮称）と新たな透析センターの整備を開始しました。病院は昭和60年（1985年）に竣工し、35年が過ぎ、アメニティに加えて、新たな感染症対策を含め、医療の質と安全の視点から病院の建て替えが一段と望まれる状況です。ポストコロナでの厳しい財務状況が予想されますが、健全な財務基盤を構築し、新病院への道筋をつけたいと考えております。皆様の応援をよろしくお願いいたします。

名古屋医療センターは社会から求められる役割をしっかりと果たし、地域医療と健康の維持・増進に貢献したいと考えています。皆様のご健勝を祈念するとともに、本年も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



# ドクター よもやま話



中村 智信

腎臓内科医長

## 医師の働き方改革

気づくとアラフィフ（※50歳前後の年齢を指す現代用語）になっていた。四半世紀前に医者になって、辛い仕事が面白かったので、平日も比較的夜遅くまで病院に残り、休日も朝から病院に出勤して、そのまま一日過ぎることも多かった。自宅に戻ってからも、入院患者や救急外来に来た患者に関する相談の電話が病院からかかってきて、自宅や外出先から病院に駆け付ける事もよくあった。大変だったけれども、充実した毎日だった。年月がたって、世の中では働き方改革がすすみ、病院でも医者も残業を減らすよう指示があり、自分自身も最前線から一步引いて後輩を指導する立場になったのもあって、病院に縛られない時間が多くなった。そうしたら、早く帰宅した夜や休日に、何をして過ごしたら良いのかわからなくなった。休日が怖くなった。40歳を超えた頃のことだった。

振り返って考えてみると、その頃の自分は知らぬ間に、一種の仕事中毒になってしまっていたようだ。仕事に依存して自分を保っていたのが、依存する対象がなくなって、不安定になった。私は運よく気づいて、方向修正することが出来たが、実はワーカホリックになったままの中高年の医者や、なりかけている若い医者は、結構多い。患者さんの立場からすると、それほど悪い事ではないように思えるかもしれないが、医者の不養生という言葉もあるくらいで、

自分を見失っていると、突然体調不良になって動けなくなったり、気分のムラが激しくなって怒りっぽくなったり、ひどいと突然死してしまう。

医者は、法的にその資格を持っていないと出来ない行為も多いため、患者さんやスタッフから色々な場面で必要とされる。そうすると、私のように大して取柄がなくても「自分が人の役にたっている」という満足感が得られ、ある種の中毒性がある。それが過ぎると、人の期待に応えることが目的となって自分を見失ったり、時に傲慢になったりする。しかし考えてみると、医者は人のためというより、自分自身の興味や探求心で動いていることも多い。結果的に人に喜んでもらえるというのは、ありがたい話である。そう思わない医者もいるかもしれないが、私はそう思う。それが自分の中ではっきりしてくると、自分の仕事で人から感謝されると何か違和感があって、むしろ相手に対して感謝の気持ちが生まれてくる。変な気負いが無くなり、自分も他人も同じように大切にできるようになる。

そんなことがありながら、私も本来の自分を取り戻し、休日を楽しめるようになってきた。どの医者もそういう道をたどる訳ではないと思うが、私はそうだった。



# 職 場 紹 介

## 相談支援センター(医療相談室)・ がん相談支援センター (1階正面玄関横)

「医療費や生活費のことが心配」「介護保険のことがわからない」「退院後の療養生活に不安がある」「仕事と治療の両立が不安」「学業に大きな影響を受けて困っている」など、病気やケガに伴って生じる心理的、社会的、経済的な問題など生活問題全般について、患者さんやそのご家族と一緒に考え、問題解決を図るお手伝いをしております。

相談内容は複雑な事情や深刻な問題、制度活用では解決しない問題もありますので、社会福祉士・精神保健福祉士の国家資格を有する専門の相談員(医療ソーシャルワーカー・MSW)が相談をお受けしております。



やすらぎサロン(サービス棟1階食堂横)

また、当院は「地域がん診療連携拠点病院」でもあり、がん医療に関する相談・支援や情報提供も行っており、がん相談員研修を終了したがん専門の看護師・医療ソーシャルワーカーが相談をお受けしております。サービス棟1階食堂横には、患者さん同士の語らいやがん関連の情報探しの場として「やすらぎサロン」を開設し、定期的に勉強会やイベントも行っておりますので、どうぞお気軽にご利用ください。



## 中 3 病 棟

中3病棟は血液内科(血液・造血器)の病棟で、主な疾患は急性骨髄性・リンパ球性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の患者さんで、輸血療法や、化学療法、造血幹細胞移植などを行っています。また、当院で行う血縁者間での移植のドナーや他病院で行われる移植に必要な骨髄バンクドナーの骨髄採取・末梢血幹細胞採取も行っています。病棟設備として移植や抵抗力が弱くなった患者さんのために無菌室を10床完備しています。治療に伴い感染しやすい状態の患者さんも多く、感染



予防など教育的関わりを行いセルフコントロールできるよう支援しています。移植をする患者さん・家族にとって治療の選択は重大な決断となるため、積極的に意思決定支援を行っています。移植患者さんへの生活支援のためにLTFU(造血幹細胞移植後長期フォローアップ)外来を2017年に開設し5回/月のLTFU外来に病棟看護師を配置し、継続的な看護を行っています。看護師は患者さんの思いや話を聞き、やさしさと笑顔で患者さんが安心して治療が受けられるよう支えていきたいと日々頑張っています。

## 災害訓練を実施しました

| 災害対策室長 吉野 能 |

当院は災害拠点病院に指定されており、例年10月に「災害訓練（多数 傷病者受け入れ訓練）」を行っています。昨年は感染症予防対応策を取り、机上訓練によるシミュレーションが中心の縮小訓練となりましたが、本年も昨年同様模擬傷病者ボランティアの参加を見合わせる事となりました。しかしながら、本年はカード式模擬傷病者を用いて、実戦さながらの訓練が令和3年10月28（木）14時から16時まで、当院5階講堂、特別会議室を会場として行われました。事前に災害対策小委員会メンバー、DMAT隊員を中心に、訓練シナリオの策定、資器材の準備など綿密に準備が行われ、訓練当日も看護



師、事務職員、検査技師、薬剤師など多数の職種に参加がありました。本年の訓練の要点を以下に記載いたします。(1) 災害対策本部設置、職員登録、参加職員の各エリアへの配備は例年通り行いました。(2) トランシーバー、PHS、伝令といった通信手段を用いた情報伝達の訓練を多く取り入れました。(3) 多数傷病者受け入れについては80例の負傷情報を記入したカード式仮想患者を用いて、実践に近い形での収容、治療、搬送までの一連のシミュレーション訓練を行いました。(4) 停電および電子カルテシステム障害を想定し、紙媒体での記録・情報伝達・保管の訓練を行いました。

昨年よりは訓練の中にリアリティを盛り込むことができましたが、やはりボランティアスタッフによる訓練のほうが実践に近い雰囲気を作り出すことができます。本年の訓練で抽出した改善点を踏まえ、今後も引き続き実際の災害時に生かせるような訓練を継続していきたいと考えています。本年は例年に比べて若手医師の参加が非常に多く、災害時において医療最前線に立つ若手医師の災害医療への関心がさらに高まることを期待しています。



# 医療最前線



中西 豊  
産婦人科医長

## HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンについて

2021年11月にHPVワクチン定期接種の積極的勧奨が再開されることが決まりました。

日本では2013年4月より小学校6年生から高校1年生までの女子を対象に、公費で接種できる「定期接種」となっています。しかし、定期接種となった前後から、「このワクチンをうった後に、『多様な症状』(広い範囲に広がる痛み、手足の動かしにくさ、不随意運動等)が起こった」と、様々な「有害事象」の訴えがありました。「有害事象」とは、ワクチンとの因果関係は問わずに、接種後に報告された全ての好ましくない医療上の出来事のことを言います。このため2013年6月、厚生労働省によって「積極的な勧奨」が中止されました。「積極的な勧奨」を中止するとは、自治体が対象者にはがきや封書などで個別にお知らせを送ることを控えるように指示したということです。定期接種は継続していますが、接種率は1～3%という状況が続いています。自分が対象者であることも知らず、公費でうてるチャンスを逃している女性が大勢いるということです。

HPVワクチンは世界中でうたれているワクチンで、先進国のみならず途上国も含む90か国以上で定期接種プログラムが実施されています。WHO(世界保健機関)も当然のことながら推奨しています。安全性についても十分に検討されています。日本でも「多様な症状」の報告を受け、様々な調査研究が行われていますが、「ワクチン接種との因果関係がある」という証明はされていません。現在のところ他のワクチンと比較しても安全性に差のないワクチンであるといえる状況となっています。



子宮頸がんは、日本では毎年新たに1万人あまりが診断され、2800人あまりの方が亡くなっている悪性腫瘍です。発症や死亡者の年齢層が他のがん比べて比較的若いため、妊孕性の問題もあります。子宮頸がんというがんは、HPVによって引き起こされるものが全体の90%以上を占めています。HPVワクチンを接種することで、HPVの感染を予防し、子宮頸がんの発症を予防することが可能となります。また、子宮頸がん検診を定期的に行うことで、がんになる過程の異常(異形成)やごく早期のがんを発見し、経過観察や負担の少ない治療につなげることができます。ワクチンと検診で子宮頸がんは予防や治療が可能ながんなのです。

産婦人科医会では医学的データをもとに、その安全性と有効性を伝え、接種率向上を目指しています。安心かつ確実に接種が出来るように、具体的な体制づくりを構築しているところです。日本でもワクチンの接種率が上がり子宮頸がんが減少していくことが望まれます。

## 連携医療機関紹介



### 医療法人 桂名会 大須病院

院長  
佐藤泰正



1971年3月24日に当時の電電公社の職域病院「東海通信病院」として開設されたNTT西日本東海病院は、2021年10月1日に新たに大須病院となりました。救急告示病院、二次救急医療を展開し、名古屋・尾張中部医療圏における病棟機能連携の最適化を担い、さらに、患者様本人・家族から選ばれる病院になれるよう努力し、地域密着型の病院を目指してまいります。

#### ◇整形外科

運動器疾患全般が対象でスポーツや事故による外傷からご高齢の方の変性疾患（変形性関節症・骨粗鬆症など）まで、多岐にわたる病態に対応します。変形性膝関節症、関節リウマチ、骨壊死、スポーツや外傷による後遺症に対する人工膝関節手術には赤外線誘導式人工膝関節手術支援ロボットを導入しています。

#### ◇回復期リハビリテーション病棟

回復期とは脳血管疾患や骨折の手術などの急性期治療を受けて、病状が安定し始めた状態のことを言います。医師をはじめ、療法士、看護師、ソーシャルワーカーなどのチームでカンファレンスを行い、患者様の状態に合わせたアプローチを行います。そのほかに家族面談や帰宅訓練なども行い在宅復帰を目指します。2022年4月には療法士100名体制で対応し、2022年6月には自宅環境をイメージした最新のADL訓練室の設置を予定しています。

#### 医療法人 桂名会 大須病院

開設者：医療法人 桂名会 理事長 木村 衛  
設立：昭和46年3月(東海通信病院 開院)  
所在地：〒460-0017 名古屋市中区松原2丁目17番5号  
電話：052-212-8981  
FAX：052-212-8982  
診療科目：内科、小児科、外科、整形外科、婦人科、皮膚科、  
眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、  
健康診断科  
URL：<https://osu-hp.keimeikai-gp.jp/>



病院全景

# 外来診療担当表

令和4年1月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
消化器内科	1診	平嶋	平嶋	島田	島田	恒川
	2診	齋藤	齋藤	近藤高	浦田	宇仁田
	3診	浦田	田中	近藤高	田中	交代制(初診)
	4診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	
呼吸器内科	5診	篠原	沖	篠原(午前) 山田有/ 鳥居(午後)	坪井 (初診)	沖
	6診	鳥居厚(午前) 小暮啓(午後)	山田有 (午前)	小暮啓 (初診)	北川	小暮啓(午前) 丹羽英(午後)
	7診	沖 (初診)	丹羽英/ 篠原(初診)	丹羽英		鳥居厚/ 山田有(初診)
循環器内科	8診			ペースメーカー (2・4週)		ペースメーカー (1・3週)
	9診	近藤隆		交代制	近藤隆	交代制
	10診	今井	上村	山下	富田	山本
糖尿病・ 内分泌内科	11診	花田	早川	山田高	山田高	森
	12診				フットケア (2週・午後)	
	14診	丹羽靖 (初診・再診)	丹羽靖 (初診・再診)	田實 (初診・再診)	田實 (初診・再診)	杉浦 (初診・再診)
膠原病内科 リウマチ科	15診	杉浦 (初診・再診)	山田有 (初診・再診)	山家由 (初診・再診)	山田有 (初診・再診)	山家由 (初診・再診)
	8診				水谷有 (初診)	高野 (1・3週・午後以外)
	12診	伊藤佑 (初診)	長谷川貴 (初診)	大島 (初診)	予約のみ (3週・午後)	高野 (1・3週・午後)
腎臓内科	17診	片山(午前) 高野 (午後・予約のみ)	高野	片山(午前) 長谷川(午後)	大島(午前) 長谷川(午後)	片山(午前) 伊藤佑(午後)
	18・19診			高野⑧・ 水谷有⑨		長谷川貴⑧・ 大島⑨
	18診	交代制(初診) 松本(午後・再診)	交代制(初診) 渡邊(午後・再診)	—	交代制(初診) 蜂矢(午後・再診)	—
脳神経内科	19診	浅野 (午前・再診)	中村(午前・再診) 三林(午後・再診)	—	龍華 (午前・再診)	—
	20診	大橋	瀧田	山田研	原田	竹中
	21診	竹中	伊藤洋		曾根(もの忘れ外来) (連携予約のみ)	龍見
総合内科	22診	小林麗(初診)	山田研(初診)	大橋(初診)	瀧田(初診)	原田(初診)
	23診	林雅(午前) 濱田 (午後・予約のみ)	古田 (午後・予約のみ) 14:00~15:00	当番制 (午前・1・3週)	林雅 (午後)	安野 (午前)
	23・24診	当番制 (午前)②	—	濱田 (午前2・4・5週)② 安野 (午後・予約のみ)②		当番制 (午前)
24診		—	古田 (午前)	古田 (午後・予約のみ)		

※総合内科の月・水・金は予約のみ。当日受付は不可。

腫瘍内科(2階) (化学療法室)	1診	2診	初診
	杉山(再診)	白石(再診)	当番制
	加藤恭(再診)	杉山(再診)	当番制
	小暮啓/船橋	北川(再診)	当番制
	佐藤真(再診)	当番制	当番制

※腫瘍内科は、初診・紹介は当番制です。

禁煙外来(2階)	特別診察室	当番制 (午後・予約のみ)	—	—	当番制 (午後・予約のみ)
	—	—	—	—	—

緩和ケア内科 (2階)	特別診察室	稲田②・ 岡本③	船橋③	船橋③ 近藤隆 (外科外来)	稲田③・ 岡本①	岡本③

内視鏡室 (2階)	消化器	島田 近藤高/ 宇仁田/田中/ 近藤高/恒川	島田(当番制) 近藤高/浦田/ 宇仁田/ 近藤高/恒川	平嶋/齋藤/ 浦田/田中/ 宇仁田/恒川/ 日比野	近藤高/ 宇仁田/ 近藤高/ 齋藤/恒川	島田/平嶋 (当番制) 齋藤/浦田/ 田中/近藤高/ 近藤高
	呼吸器	BF(当番制)	—	—	TBLB(当番制)	—

精神科(2階)	再診	—	宮本	—	宮本	宮本
---------	----	---	----	---	----	----

※精神科では当面の間、初診患者の受入れを停止しております。

脳神経外科 (2階)	1診	倉光	根来 (予約のみ)	玉利	交代制	須崎
	2診	高橋		江口		浅井琢
	3診	安藤遼		伊藤翔(1・3・5週) 木全(2・4週)		梶田泰

外科 (1階)	1診	片岡 (消化器)	伊藤啓 (一般)	加藤彩 (一般・消化器)	末永 (一般・消化器)	竹田伸 (消化器)
	2診	山田勝 (3週以外)	宇田 (消化器)	近藤隆 (一般・消化器)	林孝+加藤彩 (乳腺)	林孝 (乳腺)
	3診	梅村 (一般)	竹田直 (一般)	田嶋 (消化器)	加藤公 (一般・消化器)	杉谷 (一般)
	4診	乳腺(午前) 森田 (乳腺・午後・再診)	中山智 (心臓血管)	関 (呼吸器)	竹内義 (心臓血管)	児玉 (末梢血管2・4週)
	5診				森田(乳腺)	
特別診察室				萩原 (2診・心臓血管)		

※ストマ外来… 火曜1・2・3・4週 ※萩原医師の心臓血管外科は特別診察室で行います。

※末梢血管外科は完全予約制です(13:30～15:30)。

◎外来受付時間 ○初診/午前8時30分～午前11時 ○再診/午前8時20分～午前11時

◎休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29～1/3)

◎担当は都合により予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

診療科	月	火	水	木	金	
整形外科 (1階)	1診	森	家崎	高橋伸平	風間	生田
	2診	高橋伸平	生田	浅井信		
	3診	佐藤	浅井信(リウマチ)	家崎	森(人工関節)	
	4診	佐藤智 (人工関節)	服部陽 (リウマチ)	佐藤智(リウマチ) 高橋伸平(午後)		服部陽 (リウマチ)
	5診	服部陽(人工関節)		金子(リウマチ)	金子(人工関節)	金子(リウマチ)
	6診			森(リウマチ)		

皮膚科 (3階)	1診	滝	清水	清水	清水	竹田さ
	2診	竹田さ	大井	大井	大野	大井
	3診	日高	日高	滝	日高	滝
	4診	植田	池谷	植田	倉橋	池谷

小児科 (3階)	午前	1診	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	小野 (初診・一般)	
		2診	堀部 (血液・腫瘍)	堀部 (長期フォロー)				
		3診	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	
		4診	後藤 (長期フォロー)	後藤 (循環器)	後藤 (循環器)	後藤 (長期フォロー)	後藤 (循環器)	
	午後	1診	交代制 (一般)	交代制 (一般)	二村 (アレルギー)	交代制 (一般)	金子 (小児外科)月2回 交代制(一般)	
		2診	堀部 (長期フォロー)	高橋 (カウンセリング)	竹中 (神経)	小野 (アレルギー)	加藤・後藤 (乳児健診)	
		3診	前田 (長期フォロー)			前田 (長期フォロー)	高橋 (カウンセリング)	
		4診	後藤 (予防接種)	高橋 (内分注)月2回	後藤 (予防接種)	交代制 (一般)	後藤 (予防接種)	

遺伝(2階) 診療科	特別診察室	—	—	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合
	看顧外来	—	—	—	—	—

※遺伝診療科及び遺伝カウンセリングは完全予約制です。※カウンセリング予約枠：月曜1枠(13:00-14:00)、木曜2枠(13:00-14:00、15:00-16:00)

耳鼻いんこう科 頭頸部外科 (3階)	1診	加藤健・佐藤良	三澤・佐藤良	森永	竹内佑	加藤健
	2診	森永	森永	加藤健	佐藤良 横井(13:30-15:30)	佐藤良
	3診	三澤	竹内佑	竹内佑	加藤健	三澤(1・3・5週) 森永(2・4週)
	めまい・耳鳴り 14:00~		三澤・佐藤良			

眼科 (3階)	1診	小口(1・3・5週) 鶴田(2・4週)	伊藤和(1・3・5週) 服部友(2・4週)	近澤	高士	
	2診	鶴田(1・3・5週) 小口(2・4週)	高士	伊藤和		
	3診					
	4診		廣瀬			手術日
	5診	服部友(1・3・5週) 近澤(2・4週) 鳥居(午後)		鳥居良	服部友	
	6診	吉田		久保田	久保田	

産婦人科 (3階)	1診	中西	東	熊澤	熊澤	中西
	2診	稲葉	水谷輝	稲葉	交代制	東

※木曜の診察は、手術がある場合は1診対応となり、どちらかの医師の診察となります。産科1ヶ月健診は、金曜日に行います。

泌尿器科 (3階)	初診	鈴木晶	交代制	平林	交代制	吉野
	再診	吉野		鈴木晶	伊藤	松浦
	再診	鈴木知	代診(2・4週)	岡村		平林

血液内科 (3階)	1診	永井	飯田	永井	飯田	安田
	2診	飯田	鈴木康	今橋伸	鈴木康	今橋伸
	3診	安田	平野志	小暮あ	平野大	小暮あ
	LTFU		飯田(2・3週)		飯田(3週)	

※LTFU：造血幹細胞移植後外来

専門外来 (3階)	1診	笠原(4週以外) 伊藤公(4週)	小暮あ (14:00まで)	今橋直 (14:00まで)	横幕・松下 (3週・午後)	横幕・渡邊 (1週・午後)
	3診	小暮あ (14:00まで)	林 (12:00まで)	森岡 (12:00まで)	小暮あ (12:00まで)	今橋直

歯科口腔外科 (3階)	初診	小田	萩野	松井	交代制	宇佐美・宮坂
	再診	萩野	宇佐美	宇佐美	交代制	萩野
	再診	松井	小田	萩野	交代制	小田
	再診	宮坂	松井	小田	交代制	松井
	再診		宮坂			

放射線治療科 (地下1階)	初診・再診	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	
		加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	
	診断	午前	宇佐見・ 安藤嘉	宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 宇佐見	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 安藤嘉
		午後	宇佐見・安藤嘉 大岩(午後3時~)	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉
	放射線 (1階)	X線TV5	午前	消化器	呼吸器	消化器	
		X線TV6	午後	耳鼻いんこう科(嚥下)		耳鼻いんこう科(嚥下)	
		RI/PET	宇佐見	安藤嘉	宇佐見	大岩	大岩
超音波	大岩・ 森田(午前)	森田	大岩(生検)/ 森田	遠藤・須田 (乳腺)	—		
検診	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田		